

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年7月6日（木）現在

【 果 樹 】

「もも」

高値相場で推移しており荷動きが鈍い状態が続いている。今後は山梨県産「白鳳」の増加が見込まれるため、売り場拡大に向けた販売が見込まれる。相場は保合。

「はつひめ」単価：特秀 18玉 3,300-3,000円 20玉 3,000-2,700円 22玉 2,700-2,300円

「日川白鳳」単価：特集 18玉 3,300-3,000円 20玉 3,000-2,500円 22玉 2,800-2,300円

【 野 菜 】

「きゅうり」

東北産・関東産が徐々に増量する中、高値反動から荷動き悪く相場を下げた販売となった。今後、関東産終盤で減少するが、海の日連休以降の増量を見越し相場はジリ下げの見通し。

単価：5kg A品 2,000-1,700円

「ミニトマト」

愛知・静岡産切り上がりとなる中、東北産の増量は鈍く全体量は多くないが荷動き鈍く相場は保合となった。夏秋作の増量から相場は保合で経過し産地切替を促す見通し。

単価：200g パック AM 160-150円

「いんげん」

例年より増加スピードが早く全体量が増加し荷動きは鈍化し相場を下げながらの販売となった。今後、福島県産への切り替えと売り場確保のため、相場は弱保合の見込み。

単価：2kg 箱 A 2,600-2,500円

J A ぷくしま未来
営農経済部園芸課